

7 Zoom 奉神礼基礎講座 (2021/8/14)

Zoom で実習、Zoom で質問 2021/8/14

正教聖歌の伝統、ことばで歌うー八調のワザ 替え歌のススメ

ビデオのアドレス <https://youtu.be/i1s0vZ26Q94>

Slide 1 表紙

第 8 回奉神礼基礎講座、実習、質問編を始めます。

奉神礼基礎講座は 2017 年から大阪教会を会場に、聖歌や誦経などの奉神礼プのために、年 2 回行ってきた講座です。コロナで集まれなくなって中止してオンラインのビデオ番組として再開しました。

Slide 2 奉神礼基礎講座ふたつのシリーズ

オンラインのビデオ講座は二つのシリーズがあって、ひとつは青の表紙の歴史や理論を学ぶ「正教聖歌の伝統」と聖歌の実践や技術を習得する「奉神礼基礎講座(実習編)」の二本立てで進めています。

Slide3

過去の番組のバックナンバーはメールでお知らせしたとおりです。西日本教区のものがあります。

今回始める「Zoom で実習、Zoom で質問」は、Zoom を使って実践実習を行うについての質問や話し合いの時間にしたいと思います。月 1 回、第 2 土曜日の開催ですが、日程や時間などは、参加者のご希望もお聞きして、調整します。ただし、時間の配分もわからないので、終わらなかつたら来月にまわします。

今日はビデオ講座の「替え歌のススメ」を前もって見ていただいたという前提で、話を進めます。まず、私が質問時間を設けますので、みなさん、マイクはミュートにしておいてください。途中、クイズなどのところはオンにしてください。参加者のご紹介もあとで行います。

< はじまり >

ビデオ講座実習編「ことばで歌う」シリーズでは、1. 「棒読みのススメ」で、歌えないときは棒読みで読めばいい、「八調、神の使いをカンタンに」で難しいイルモスもカンタンにできますよ、という話をしました。そして先日公開された「八調ー替え歌のススメ」では、「八調」という「替え歌のシステム」をご紹介しました。

その延長で、今回の Zoom 「替え歌のススメ」となるわけですが、「替え歌で歌う」「ことばに合わせてメロディの部品」というのは、古代教会から用いられてきた手法で、西方でもグレゴリオ聖歌の頃には行われていました。というより音楽を記録する手段がなかった時代には、聞き覚えて、替え歌で歌うよりほかに方法がなかったからでしょう。楽譜に演奏する、というのは近代以後の常識です。正教会も楽譜を使いますが、根本的な考え方が違うから縛られることはあ

今日とはとにかく、実際に「替え歌」をやってみます。八調の部品で歌うワザがわかるようになるには経験が必要ですが、実際にやってみることで「正教会流」というのがあるので、気楽になれればいいなと思います。

Slide 4

この講座では、学問的な正確さよりも、全体をざっくり理解していただくために、いろいろ切り落としているので、疑問点も出てくると思いますが、質問コーナーでお答えします。

さて、ものすごくおおざっぱに言うと、「八調のシステム」というのは、八組の替え歌セット、替え歌で歌うのに使われるメロディの部品を種類別に分けて、八つの袋に分類したものです。1200 年前ごろまでに、修道院でたくさん作られた聖歌



7 Zoom 奉神礼基礎講座 (2021/8/14)

囲気、歌われる音楽などによって八種類に分類し、調ごとに集めました。調ごとに歌の歌詞を集めた本が『八調経』が「八調」のメロディセットでした。音楽は地域によって、時代によってさまざまですが、八つのメロディのセットシステムはビザンティンでもロシアでもずっと続けられ、正教の音楽作りの基盤になっています。

八調のセットは色々ありますが、今日は、日本でも歌われている 19 世紀ロシアの『宮廷聖歌集』、通称宮廷オビホの 1 調の袋にある、イルモスの部品を使って替え歌を作ります。

Slide5

さて、「替え歌」というからには「元歌」がいます。とりえあえず、よくで、みなさんお馴染みの「降誕祭」のイルモス「ハリストス生まる〜」を元歌調のイルモスも似たようなパターンで作られています。

「ハリストス生まる」思い出して、頭の中で歌ってみてください。これを基な部品は三つ、①「ハリストス生まる、崇めほめよ」これがフレーズの始まり、②「ハリストス天よりす、迎えよ」これが終わりの部品、③「ハリストス地にあり、あがめよ」これが発展の部品、つなぎの部品などがありますが、それは応用編のこの三つに絞ります。

①の始まりの部品、ドレミ、ミレドレミファこの F#、ドのシャープの音が入ります。省くとトロパリ 1 調と似た感じになります。



Slide6

20 世紀の始めに出された「聖歌者の友 Sputnik psalmoshchka」という単音の音は入っていません。戦後アメリカで再版され、大阪教会の図書コーナー



Slide 7

八調の歌作りでは、ことばが字余り、字足らずにならないように、ことばに合わせて部品に音を足したり減らしたりして形を整えます。

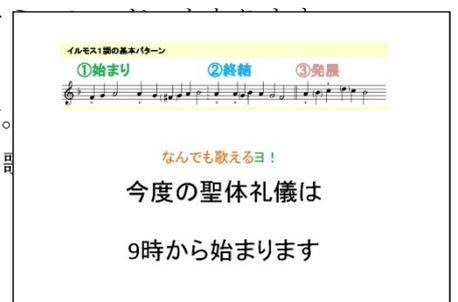
Slide 8

たとえば「ハリストス生まる」だったらドドレミミーだけれど、「生神女や」で始まっていたら「ドーレーミーミー」こんな長いものもあります。楽譜で書くと違うように見えますが、同じ部品のバリエーションです。

Slide09

②終わりの部分はミミミミレド、ミミレミファミレド、ミミミミーレファ

③発展の部品もミミミファソファとかミミファソラソファとかもあります。伝統聖歌では音は飛ばないのが原則、音域もせいぜい四度までで、誰でも歌



7 Zoom 奉神礼基礎講座 (2021/8/14)

さて、この三つの部品、これで文章を歌ってみましょう。なんだって歌えますよ。

Slide 10

たとえば、

これどうですか？三つの部品で、歌ってみてください。

<参加>

Slide11

次はクイズです。クイズ「どれが似合う？」

1 問目、「神の母や」ということばに、ドからレにあがるメロディが似合います。

まず、声に出して読んでください。アクセントは地方によります。関西代表、東京代表、東北代表。

神のか、母の「は」にアクセントがあります。ドからレに上がる抑揚に合うように考えます。

A これ、正教会ではよくあるパターンなのですが、日本語ではよくありません。私は多分外国人なまりと推測しています。

ことばに合わせて微調整

**クイズ どれが似合う？**

A かみの ははや

B かみの ははや

C かみの ははや

Slide12

さて、「生神女や、」と呼びかけるとき、ドレミと上がってレミドレミと下がるメロディが似合うでしょう。

A もよくありますが、ショウ・シン・ジョヤとなりがち。

B

C ジョ～と動くのは、あまり美しくないかも

D

**クイズ どれが似合う？**

A 生神女や

B 生神女や

C 生神女や

D 生神女や

Slide13

次。「救い給う」。終わりによくあることばです。

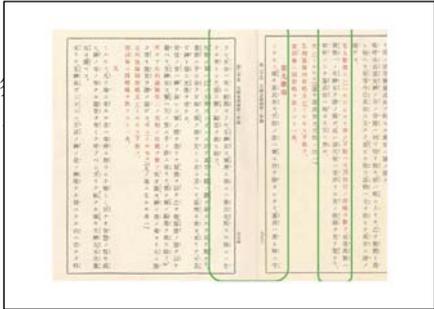
B、よくあるんですが、一息に歌えればいいんですが、これを「すくーう」と歌われると、いただけませんね。そうならないために C もあかん。

B すくいたまう

C すくいたまう

Slide14

いよいよ、イルモス第9歌頌のことばを「替え歌」で歌います。テキストは『イルモス』の793ページです。聖歌の方も祈祷書を手に取ってみる習慣をつけると謎が解けます。



Slide 15

書き出して、文章の構造を見て、どこで区切ったらよいかを考えます。ざっと口ずさんでみて、どの部品をあてはめるか考えます。

このときは多少の字余りは無視してかまいません。

**第9歌頌 イルモス**

「生神女や」、アクセントは冒頭です 

いさぎよ どうていじよ てんねん ほう たんじ おい か  
 潔 き童貞女よ、天然の法は爾に於て勝たれたり、

どうてい う とまき まも いのち し はいぐう  
 童貞は産む時に守られ、生命は死に配偶せらる、

しょうしんじよ なんじう のち どうていじよ し のち い もの  
 生神女よ、爾産む後には童貞女、死する後には生ける者として、

つね なんじ しぎょう すく たま  
 常に爾の嗣業を救ひ給ふ。

Slide16

替え歌で、ことばに合わせるとき、いくつかのポイントがあります。

ひとつは、さきほどクイズでやった、日本語の抑揚です。

もうひとつは文の構造と内容の構成を見極めることです。日本語はギリシア語やスラブ語と語順が違  
うので、区切り方によっては、意味がわからなくなることがあります。音楽付けをするには意味をつ  
かむことが重要です。そのためには、この祭日が何を記念しているのか、ということも重要です。

祭日の参考書としては、西日本で出版した正教基礎講座の『奉神礼』、就寝祭の部分を pdf でお送りしました。

あとは英語版の『祭日経』Festal Menaion、pdf で無料でダウンロードできます。

これは聖書の関連箇所が脚注に入っているのです、便利です。

[https://www.ponomar.net/data/festal\\_menaion.pdf](https://www.ponomar.net/data/festal_menaion.pdf)

**英語版祭日経**

[https://www.ponomar.net/data/festal\\_menaion.pdf](https://www.ponomar.net/data/festal_menaion.pdf)

Slide17

意味を見ていきます。

1 行目：「潔き童貞女よ、天然の法は爾に於て勝たれたり、」汚れなき処  
女よ、と呼びかけ、彼女に起こったこと、すなわち、出産の前も後も処  
女だったという事実によって、自然の法則、限界を超えられた、と歌い  
ます。天然の法の「法」とは法則、限界の意味で、勝たれたり克服さ  
れたの意味です。

2 行目「童貞は産む時に守られ、生命は死に配偶せらる」

ここ、「なぜなら」ということばが省略されています。前の文に対して、  
生神女は、出産の時に処女が守られたことと、死の時に、彼女の死が（永  
遠の）生命と結ばれたことが対比されています。日本語だと「生命」が  
主語に見えますが、スラブ語だと、主語は「生命」とも「死」ともとれ  
るようで、ギリシア語を見ると、「死」が主語で、「死は生命に配偶せら  
る」、生神女の「死」は「生命」であるハリストスに結ばれ、ここでも

**潔き童貞女よ、天然の法は爾に於て勝たれたり、**  
汚れなき処女よ、自然の限界は、あなたにおいて、克服された  
 天然の法、自然の限界とは、**処女懐胎のこと、**

**童貞は産む時に守られ、生命は死に配偶せらる、**  
(なぜなら) 産むときに処女が守られ、命は死に配偶された  
 出産のときに処女が守られた、死は命に結ばれた

**生神女よ、爾産む後には童貞女、死する後には生ける者として、**  
生神女よ、あなたは産んだ後に処女であり、死んだ後には生きる者  
 出産後も処女、死後も生きている者

**常に爾の嗣業を救ひ給ふ。**  
あなたの後継者を常に救ってくださる。  
 生神女は救われた「人間」の第一号。

7 Zoom 奉神礼基礎講座 (2021/8/14)

天然の法則は克服されたという意味になります。

3行目「生神女よ、爾産む後には童貞女、死する後には生ける者として」  
「出産のあとも童貞女」「死んだ後にも『生きている者』」が対比されています。

4行目「常に爾の嗣業を救ひ給ふ」

最後の行は、生神女の死が「命」に結ばれたことによって、生神女に続く者である私たちの復活、救いが示されたこと。嗣業はこの場合「跡継ぎ」「後継者」です。耳で聞いただけではわかりにくいですね。

Slide18

この意味をふまえて、音をあてはめていきます。

このとき、矢印などの記号でもかまわないのですが、やはり五線譜に記録するのが便利でしょう。正教会では楽譜や記号の一種変わった使い方をするので要注意です。楽譜は西洋の音楽伝統で作られた道具ですが、それを借用して、正教会流で使うので注意が必要です。

前にも言いましたが、音の高さは F、ファと書いてあってもピアノの F ではありません。輔祭さんや神父さんの音に合わせます。音符の長さも、必ずしも二分音符は四分音符の倍ではなくて、ことばに合わせて伸び縮みします。また、教会によって「歌い癖」のようなものがあって、教会ごとに多少違います。ほかの教会に行ったら、そこの教会のやり方、指導者、神父さんや聖歌の担当者に従うのが正教会のやり方です。

それから、西洋音楽の楽譜では普通使わない不思議な記号の使い方があります。たとえばオレンジで囲んだ部分、同じ音が続くときには音符を省略する。また赤で囲んだ部分、ことばの一つの音節で二つ以上音が動くときにスラーをつけるというのがあります。スラー本来の「なめらかに歌う」という指示とは関係ありません。これは日本だけではないので、多分ロシアから引き継いだ習慣だと思います。

**正教会の不思議な楽譜**

- ・「ド」はどの高さでもOK。司祭輔祭に合わせる。
- ・音の長さは「ことば」に合わせる。
- ・歌い方はその教会の流儀に合わせる。

Slide19

1行目

区切り方には 2 種類考えられると思います。「潔き童貞女よ」のあとか、「天然の法は」のあとか。どちらもありうると思います。この中でキーワードは「天然の法」「勝たれたり」

生神女の処女懐胎という超自然なできごとによって「天然の法」が克服されたという意味ですから「法」ははっきり聞こえなければなりません。A のようにまっすぐ歌うときはちょっとアクセントをつけて、「天然の法」とははっきり歌うといいでしょう。

B では音に動きをつけて目立たせてみました。

あと、始まりの部分、A ではレドレミファとドの#の音を入

Sample slide 1

①始まり      ②終結      ③発展

潔き童貞女よ、天然の法は爾に於て勝たれたり、  
汚れなき処女よ、自然の限界は、あなたにおいて、克服された。

A 潔き童貞女よ、天然の法は 爾に於て勝たれたり

B 潔き童貞女よ、天然の法は 爾に於て勝たれたり

天然の法は

れましたが、これは飾りなので、好みで入れてもかまいませんし、なくてもかまいません。

Slide21

2行目：童貞は産む時に守られ、生命は死に配偶せらる、

英語の祈祷書を見ると、「なぜなら」ということばが入っていて、1行目の理由を説明する文になっています。

(なぜなら) 産むときに処女が守られ、命は死に配偶された。生神女は死んだのに、生命に生きるものになるという意味です。

Aはすなおに①と②の部品を並べました。

「童貞」と「産むとき」、「いのち」と「死」が対になっています。

生神女の死がテーマの中心なので、Bでは「死」を強調してみました。ギリシア語では「死」は「生命」に配偶せらるで「生神女の死が永遠の生命に結ばれたということがわかりやすくなっています。

Sample slide 2

①始まり                      ②終結                      ③発展

童貞は産む時に守られ、生命は死に配偶せらる、  
 (なぜなら) 産むときに処女が守られ、命は死に配偶された

A

童貞は産む時にまもられ、生命は死に配偶せらる

B

童貞は産む時にまもられ、生命は死に配偶せらる

Slide22

生神女よ、爾産む後には童貞女、死する後には生ける者として、

生神女よ、あなたは出産の後には処女、死んだ後には生きる者として、

Aのように始まりと終わりの部品を順次あてはめてもいいのですが、この文では出産の後にも「童貞女」であったこと、死んだ後にも「生きる者」だったことが対比されています。なので、

Bでは③の発展の部品を入れて、「童貞女」と「生きる者として」に同じ形の音の動きミミレミファをあてはめてみました。

そうして最後の行へつながります。

Sample slide 3

①始まり                      ②終結                      ③発展

生神女よ、爾産む後には童貞女、死する後には生ける者として、  
 生神女よ、あなたは産んだ後にも処女であり、死んだ後にも生きる者

A

生神女よ、爾産む後には童貞女、死する後には生ける者として

B

生神女よ、爾産む後には童貞女、死する後には生ける者として

Slide23

常に爾の嗣業を救ひ給ふ。

あなたの後継者を常に救ってくださいます。「嗣業」がわからないですね。後継者、生神女に続く人間たち、私たちです。

歌がここで終わるので、止めてあげなければなりません。「すくいたまう」は A のように歌ってもいいし、B のようにも歌えます。正教会ではなぜか、「たまう」を「たもう」と音便で歌うクセがあるのですが、なぜかなあとと思います。「たまう」が「たもう」でもわかりますが、あまり多用するとわかりにくくなると思います。

C では「嗣業」を強調してみました。嗣業とは普通日本語では相続財産の意味ですが、この場合、生神女のあと継ぎ、すなわち、私たちです。正教会の考え方では、ヨアキムとアンナというご両親から普通に生まれ、私たちと同じく罪の人間性を背負って生まれた、普通の人間だけれども、神への従順を貫いた方です。その彼女は死のとき、ハリストスによって死んでも生きるものになり、あなたと同じ人間である私たちも永遠の生命にあずかれるようになったという喜びの祭の歌です。

日本語の語順では語尾にあまり重要でない、「なり」とか「たまう」とかが来るので、強調できませんが、スラブ語だとフレーズの最後が「爾の嗣業を」「跡継ぎ、あなたの」ということばになっています。

Slide21

一応できたら、続けて歌ってみます。全体を見ると、また直したいところが出てくるので調整を加えていきます。一緒に歌う人と練習を兼ねて歌ってみると、「歌いにくいところ」が見えてくるので、こうしたらいいんじゃないという意見をいれて、修正します。さらに聖堂で実際の晩禱で歌うと、また何か出てきます。こうして何年か歌ってみると、まあまあ、いい具合のところに着いてきます。ゆっくりゆっくりです。

正教会の聖歌は、作曲家がひとりで楽譜に向かって書き上げるものではなくて、教会の中で作られ、歌われ、渡されていくというものです。楽譜のなかった時代には、自然に発酵熟成していきます。現代はなんでも「スピード感を以て」なので、発酵熟成する時間が足りないように思います。楽譜というのは、固定されてしまう傾向があって、自然な成長を妨げてきたように思います。

Sample slide 4

①始まり ②終結 ③発展

常に爾の嗣業を救ひ給ふ。  
あなたの後継者を常に救ってくださいます。

A 常に爾の嗣業を すくい たまう  
B 常に爾の嗣業を すくい たまう  
C 常に爾の嗣業を すくい たまう

Sample slide 5

続けて歌ってみて、さらに調整する

① ② ③

潔き童貞女よ、爾において 天然の法は 勝たれたり  
童貞は産む時にまもられ 生命は死に 配偶せらる  
生神女よ 爾産む後には 童貞女  
死する後には 生ける 者として  
常に爾の嗣業を すくい たまう

Slide22

さて、歌いくらべてみましょうか。随分単純になったと思います。またあらためて、「なぜ、この茶色の祭日聖歌譜の歌が難しいのか」ということは説明しますが、無理してムズカシイ歌を歌う必要はありません。奉事規定には「音楽」をどれを選ぶかは決まりはありません。

神父さんや聖課の担当者と相談して、決めてください。



第 7 (常に福にしての代りに)

Slide23

さて、もうひとつ、祈祷書を見ると第 9 歌頌の前に、通常歌われる「ヘルビムより尊く」が歌われず、「附唱」をつけてイルモス歌うとあります。祭日経の緑の線で囲んだところに祭日の附唱が書いてあります。これが不思議なんです。楽譜を見ると一つ目の「我等萬族は爾唯一の生神女を讃め揚ぐ」ではなくて、二つ目の「諸天使は至上なる者の就寝を見て驚けり、いかにして童貞女は地より天にのぼる」選ばれています。ギリシアの教会では一つ目の附唱を歌います。ロシアは二つ目です。正教会の多様性です。附唱の部分は、パターンでメロディをつけてもいいし、まっすぐに棒読みしてもかまいません。

Slide26

12 大祭では聖体礼儀の「常に福」のかわりに、附唱と第 9 歌頌のイルモスを歌うというきまりがあります。奉事規定においては、音楽の種類にはきまりはないので、どんなメロディでうたってもかまいません。祭日聖歌譜のムズカシイ歌でなくても、今日みなさんと作ったイルモスでも OK です。管轄司祭と相談してください。

最後に、お時間のないかたは退出して下さってかまわないのですが、ロシア正教の総本山のひとつ、聖セルギイ至聖三者修道院の生神女就寝祭の十字行をお見せします。ロシアでは生神女就寝祭の早課の終わり、復活祭前の聖大土曜日、聖大スポタと同じように眠りの聖像を担いで十字行を行います。聖堂を出て、ロウソクを持って、聖三の歌「聖天主、聖勇毅」を歌いながら、ゆっくり回ります。その間、葬送の鐘が鳴らされます。ひとつひとつ鳴らして、最後にグシャーンと鳴らします。行列が聖堂の前に戻ってくると、華やかな祝いの鐘が鳴らされます。復活祭の慶び。生神女が死んだとき、活きる者としてハリストスに抱かれた、私たちの復活の第1号です。生神女は私たちの「例外」じゃなくて、「お手本」です。

<https://youtu.be/UAQ0Xo71E2o>

時間があれば Slide27

最後に、祭日聖歌譜のイルモスがなぜムズカシイかという話をします。この茶色の祭日聖歌譜だけでなく、四声の場合も祭日の「常に福に代えて」はスラブ語でザドストイニクと言う「わーがたまーしいーや」という難しい歌が歌われます。実はこの一連のザドストイニク、ズナメニイ聖歌というロシアの古い聖歌をトゥルバチョフという人が四声に編曲したのから取られています。

西洋音楽と異なる性質を持つ古いロシア聖歌のメロディを用いているという点で、まず馴染みがなくてムズカシイ、さらに、日本語をあてはめるときに、メロディのパターンではなく、書かれた楽譜にそのまま日本語を押し込めたから、ますますムズカシイものになりました。

古いズナメニイ聖歌もメロディのパターンの組み合わせでできていますが、部品の数がとても多く、飾り付けも複雑です。これを四声の合唱曲にするのは至難の業です。もう少し後の時代に、リムスキーコルサコフ、チェスノコフ、チャイコフスキー、ラフマニノフなどの大作曲家たちが、ロシアの古来の伝統、古いロシア聖歌に着目し、分析し、和声や対位法など西洋音楽の技術を用いて美しい合唱聖歌が作られました。その時に参考にされたのが、この本です。1800年代、西洋音楽に押されて失われつつあったロシアの古い単旋律聖歌を四角音符の五線譜に記録したものです。何度も再版され、その一冊が大阪教会の図書コーナーにもあります。

